

mini DISCLOSURE

ミニディスクロージャー誌

第100期 営業のご報告



ごあいさつ

平素より武蔵野銀行をご利用、お引き立ていただき誠にありがとうございます。

株主さまをはじめお取引先の皆さまに、当行に対するご理解を一層深めていただければと、2023年3月期の営業の概況等をわかりやすくお知らせする本冊子を作成いたしました。ご高覧いただければ幸いに存じます。

新型コロナウイルスの5類への移行に伴い、インバウンドの復活や賃上げの動きと軌を一にした個人消費拡大が期待されております。有事から平時へとポストコロナ社会の緒に就いた一方、欧米の金融不安といったダウンサイドリスクが存在し、経済の先行きは不透明な状況が続いております。

当行は、2023年3月、10年間の長期ビジョン「MCP (Musashino mirai-Creation Plan) ～多彩な価値を結集し、地域No.1のソリューションで埼玉の未来を切り拓く」を策定しました。

「地域・お客さまの期待を超える存在へ」「組織・従業員の力を最大化」という基本方針のもと、金融・非金融のサービスを通じお客さまの課題解決や地域活性化に注力していくとともに、レジリエンスの高い組織づくりや行員一人ひとりの能力発揮に向けた高い専門性や多様な働き方の提供に努めてまいります。

ビジョン具現化に向けた第一ステージとして、中期経営計画「MCP 1/3 (ワンサード)」を4月よりスタートいたしました。この計画では、人とデジタルへの積極的な投資を行い、その強みを最大化していくことで地域No.1のソリューション提供を実現し、お客さまと地域の持続的成長に貢献していくことを目指しております。

計画のスタートにあわせて新設した「デジタル推進部」を中心に、お客さま向けのデジタルサービスや各種業務のデジタル化に関する取組みを一層加速させてまいります。

また、人的資本経営の実践として、提案力・課題解決力を有するプロフェッショナル人材の育成やダイバーシティ&インクルージョンの推進などに注力してまいります。

加えて、地元企業の皆さまに寄り添い、様々な課題にお応えする本業支援を徹底していくとともに、一人ひとりの中長期的な資産形成をサポートするお客さま本位の業務運営に努めてまいります。

創業以来変わらぬ「地域共存」「顧客尊重」の経営理念のもと、自主独立の経営を堅持し、お客さま、株主さま、地域社会など全てのステークホルダーの皆さまとともに永続的發展を目指し、役職員一同不断の努力を重ねていく所存です。

皆さま方からの変わらぬご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

2023年6月

頭 取

長堀和正



武蔵野銀行について

経営理念

- 「地域共存」 豊かな地域社会の実現に寄与し、
地域とともに発展します。
- 「顧客尊重」 変化を先取りした果敢な経営を
展開し、組織を挙げて最良の
サービスを提供します。

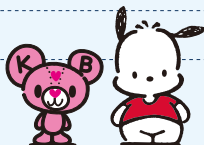
ブランドメッセージ

More For You

もっと、街・暮らし・笑顔のために

プロフィール

名 称	株式会社 武蔵野銀行 The Musashino Bank,Ltd.
本店所在地	さいたま市大宮区桜木町一丁目10番地8
ホームページ	https://www.musashinobank.co.jp
設 立	1952年3月6日
ネットワーク	営業店舗数 99か店 (県内93 [うち出張所2]、県外6) 住宅ローンセンター 8か所
従業員数	1,955名
イメージ キャラクター	ドリームテイルクーパー ポチャッコ ©2023 SANRIO CO., LTD. APPROVAL NO. L641632



武蔵野銀行のあゆみ

1952年 4月
資本金1億円、本店を大宮市
(現さいたま市)に置き8か店
で創業

1969年 10月
東証第二部に上場
(1970年8月東証第一部に上場)
(2022年4月東証プライム市場に移行)

2013年 1月
吉川支店開設により県内全市(40市)に
支店網確立

2016年 3月
千葉・武蔵野アライアンス締結

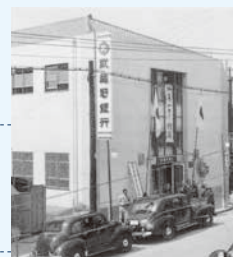
2019年 3月
TSUBASAアライアンスに参加

2019年10月
池袋支店開設により全99か店となる

2021年 12月
新本店ビルブランドオープン

2022年 4月
創業70周年

2023年 3月
長期ビジョン「MCP～多彩な価値を結集し、地域No.1の
ソリューションで埼玉の未来を切り拓く～」を策定



創業当時の本店



武蔵野銀行グループ

株式会社武蔵野銀行	連結子会社
	ぶぎん総合リース株式会社
	ぶぎん保証株式会社
	むさしのカード株式会社
	ぶぎんシステムサービス株式会社
	株式会社ぶぎん地域経済研究所
	株式会社ぶぎんキャピタル
	むさしのハーモニー株式会社
	むさしの未来パートナーズ株式会社

(2023年3月末現在)

長期ビジョン「MCP」・中期経営計画「MCP 1/3」

長期ビジョン「MCP (Musashino mirai-Creation Plan)」

多彩な価値を結集し、
地域No.1のソリューションで埼玉の未来を切り拓く

実現に向けた『2つの基本方針』

基本方針Ⅰ ▶ 地域・お客さまの期待を超える存在へ

- 金融・非金融の両面からお客さまの暮らしや事業に深く入り込み、課題解決にコミットし続けることで、期待以上の価値を提供する
- 地域が潜在的に抱える課題の解決に貢献し、魅力ある地域の創造と成長を支援することで、豊かな未来を実現する

基本方針Ⅱ ▶ 組織・従業員の力を最大化

- 地域になくてはならない金融機関として、環境変化に対応できるレジリエンスの高い組織を構築する
- 全ての従業員が銀行グループで働く喜びを分かち合い、個々の能力を最大限発揮するため、高度な専門性や多様な働き方を提供する

ビジョン実現に向けた10年

第1ステージ(3年)

中期経営計画
「MCP 1/3(ワンサード)」
(2023年4月～2026年3月)

将来に向けた土台を築く

第2ステージ(3年)

次期中期経営計画
(2026年4月～2029年3月)

確固たる地位を確立する

最終ステージ(4年)

次々期中期経営計画
(2029年4月～2033年3月)

期待を超える存在となる

中期経営計画「MCP 1/3 (ワンサード)」(2023年4月～2026年3月)

2つのテーマ

リアルとデジタルを融合し、地域・お客さまと共に歩む

あらゆる価値観を認め合い、多彩な人材が躍動する

目指すビジネスモデル

デジタル・人的資本への投資を通じてサステナブルな経営基盤を構築するとともに、サービスレベル向上・顧客接点の増強によって、お客さま満足の最大化を目指していく

具体的戦略

営業推進態勢

法人戦略

個人戦略

地域活性化戦略

グループ戦略

チャネル戦略

デジタル戦略

人材戦略

有価証券戦略

アライアンス戦略

サステナビリティ
戦略

経営管理態勢

中期経営計画「MCP 1/3」の主な取組み

■法人のお客さまに向けた取組み



お客さまのことを深く理解し、専門性の高いソリューションを提案する態勢を構築しています。

- ・コンサルティングや人材紹介など、ソリューション提案メニューの拡充
- ・円滑な事業承継やM&Aなど、お客さまの成長ステージに合わせたきめ細かな支援

■個人のお客さまに向けた取組み



お客さまの生涯に亘るパートナーとして、ライフステージに寄り添った提案に注力しています。

- ・お客さま本位の業務運営の徹底
- ・長期安定的な資産形成に貢献する提案高度化
- ・信託機能を活かした相続・資産承継ニーズへの対応

■地域活性化戦略



自治体や大学、地元企業の皆さまと連携し、埼玉ならではの地域活性化に取り組んでいます。

- ・産学官金連携のプラットフォーム構築
- ・観光・シティプロモーションへの取組み強化
- ・地域資源の発掘・創造
- ・農業分野での実践的課題解決

■デジタル戦略



先進的なデジタル技術活用により、お客さま利便性の向上などにスピード感を持って取り組んでいます。

- ・スマホアプリの機能拡充・法人向けデジタルサービスの強化
- ・口座開設やローン手続きのデジタル化
- ・ビッグデータ活用によるお客さま提案の高度化

■人的資本の価値向上



高い課題解決力を有するプロフェッショナル人材の育成や、ダイバーシティの取組みを進めています。

- ・ファイナンシャルプランナーやデジタル人材の育成
- ・ダイバーシティ&インクルージョンの実践
- ・従業員のリスキリング・エンゲージメント向上

■アライアンス戦略

様々な分野での連携・協働を行っています。

千葉・武蔵野アライアンス

- ・相続関連業務
- ・共同拠点の設置 など



TSUBASAアライアンス

- ・キャッシュレス業務
- ・アプリ共同開発 など



地域商社「むさしの未来パートナーズ」



当行100%出資の地域商社「むさしの未来パートナーズ」では、これまでの銀行業務の枠組みを超えた非金融の取組みを通じ、地域の皆さまの課題や困りごとを解決し、経済および社会の活性化に貢献していきます。

個人(アクティブシニア)支援事業 有料会員制サービス「彩・発見」



埼玉県では高齢化が急速に進展するとともに、核家族化等が社会課題となっていくことが指摘されています。有料会員制サービス「彩・発見」では、アクティブシニアの方々をはじめとした高齢者の皆さまの日常生活における困りごとの解決や、暮らしを彩る体験の提供を行っています。

つかう

- ・家事代行や庭の手入れといった日常生活の困りごとと解決
- ・食事や趣味など暮らしを彩る体験の提供

もらえる

厳選した県内の逸品を年2回お届けします。



参加する

「楽しむ」「学ぶ」といったテーマで、会員の皆さま限定のイベントにご招待します。

事業者向け商流支援事業 購入型クラウドファンディング 「IBUSHIGIN(いぶしぎん)」



事業者の皆さまの優れたモノやサービスを多くの方々を知っていただくため、企画や開発、ブランディングなど商流全体の伴走支援を行います。

購入型クラウドファンディング「IBUSHIGIN」では、モノやサービスの魅力と事業者の皆さまの思いに光を当て、幅広い共感を得ていく仕組みを提供し、新たなファン作りやテストマーケティングなどをサポートします。



TOPICS 特徴的なプロジェクトが続々立ち上がっています

子ども食堂の支援 海幸水産「笑顔満開プロジェクト」

初めての社会課題解決型プロジェクトです。プロジェクトに集まった支援に応じて人気食材である鮭の切り身を子ども食堂に贈呈しました。



スポーツで地域を盛り上げる 大宮アルディージャ「BE ORANGE プロジェクト」

大宮の街に特製街頭バナーを設置する同プロジェクトでは、これまでで最多となる支援が集まり地域活性化に繋がっています。



サステナビリティへの取り組み

当行では、サステナビリティの視点を銀行経営に積極的に採り入れていきます。経営陣の積極的な関与や横断的な取り組み促進など推進態勢強化を図りながら、持続可能な地域社会の実現に向けた取り組みに注力していきます。

武蔵野銀行SDGs宣言

SDGsの目標達成に貢献するため、グループ全役職員が取組むことを宣言します。

「持続的成長の源泉としての企業統治」

企業統治を持続的成長の源泉と位置づけ、創業以来不変の経営理念に基づく確固たる銀行経営を志向します。



「持続可能な地域経済」

地元産業のイノベーションや地産地消の促進、快適かつ強靱なまちづくりに貢献し、持続可能な経済成長を実現します。



「いつまでも自分らしく暮らせる地域社会」

全ての人々が自分らしく、健康で幸福に生活できる社会をつくるため、積極的な取り組みを行います。



「気候変動への対応と生物多様性の維持向上」

地球規模の気候変動に対応するとともに、地域の豊かな生物多様性の維持向上に取組めます。



サステナビリティ基本方針等

気候変動や人権といったグローバルな課題や国内外の金融経済における脱炭素の動きに対応するとともに、より実効性あるサステナビリティ経営の実践を目指していきます。

サステナビリティ基本方針

環境方針

投融资方針

人権方針

気候変動への対応

TCFD提言への取り組み



気候変動への取り組みを重要な経営課題と位置づけ、TCFD(気候関連財務情報開示タスクフォース)提言を踏まえたガバナンスおよびリスク管理体制の構築や気候変動がもたらす機会とリスクの把握に努めています。また、サステナブルファイナンスおよび温室効果ガス排出量削減に関する目標を定め開示しています。

サステナブルファイナンス

地域の脱炭素化に資する融資について、2021年度から2030年度までの10年間で累計1兆円の実行を目指しています。



温室効果ガス排出量削減

当行グループ全体のCO₂排出量について、2030年度には2013年度比70%削減することを目指しています。



TOPICS 従業員へのサステナビリティ教育

- ・当行独自の講座「ぶぎん環境カレッジ」では、公益財団法人埼玉県生態系保護協会と連携し、自然環境や生物多様性について、企業活動や街づくりの視点も含め学べるプログラムとなっています。
- ・新入行員のサステナビリティ研修として、荒川河川敷で外来植物駆除活動を毎年実施しています。



ぶぎん環境カレッジ



外来植物駆除活動

人的資本の価値向上に向けた取組み

当行では人的資本こそが企業価値の源泉であるとの認識のもと、一人ひとりの専門性を高める人材育成の高度化に注力するとともに、ダイバーシティ&インクルージョンなど全ての従業員が活躍できる職場環境の整備に努めています。

人材活躍推進にかかる長期ビジョン「奏^{そう}～SOU～」

S (Sustainable : 持続可能な) **O (Only : 個性)** **U (Unite : 一体感・つながり)**

2023年4月、一層の人材活躍推進を図るため、長期ビジョン「奏～SOU～」を策定しました。多彩な能力の発揮や、多様な価値観を大事にする組織づくりに継続して取組んでいきます。

基本方針

「自 律 ・ 挑 戦」・・・自身の成長に向け、自律的かつ挑戦心を持った人材を作る
「多様性・つながり」・・・様々な価値観を理解し、認め合うことで多彩な人材が活躍する組織を作る

お客さまと地域の発展に貢献できる人材の育成

ファイナンシャルプランニングや企業の経営課題解決に繋がる資格のほか、デジタルおよびITなどに関する知識・スキルを有する人材を育成しています。

プロフェッショナル人材の養成

- ・従業員のスキル可視化と育成メニュー拡充
- ・研修体系の整備や資格取得の支援

目指す指標
(2026年3月)

プロフェッショナル資格保有者数 300名

1級FP技能士、中小企業診断士、証券アナリスト、
ITコーディネータ、基本情報技術者 など



本店の研修室

ダイバーシティ&インクルージョンの取組み

女性活躍推進法の行動計画に基づく実践などに取組んでいます。

多様な人材のキャリア形成を支援

- ・キャリアアップや職務拡大へ向けた育成プログラムの実施
- ・年齢・性別によらない公正な処遇

目指す指標
(2026年3月)

管理職に占める女性の割合

30%

ワークライフバランスを実現する環境整備

- ・育休対象者に対する制度周知や計画的取得を推進
- ・育休取得を促進する組織風土の醸成

目指す指標
(2026年3月)

男性の育児休業取得率

100%以上

経営管理態勢の高度化に向けた取り組み

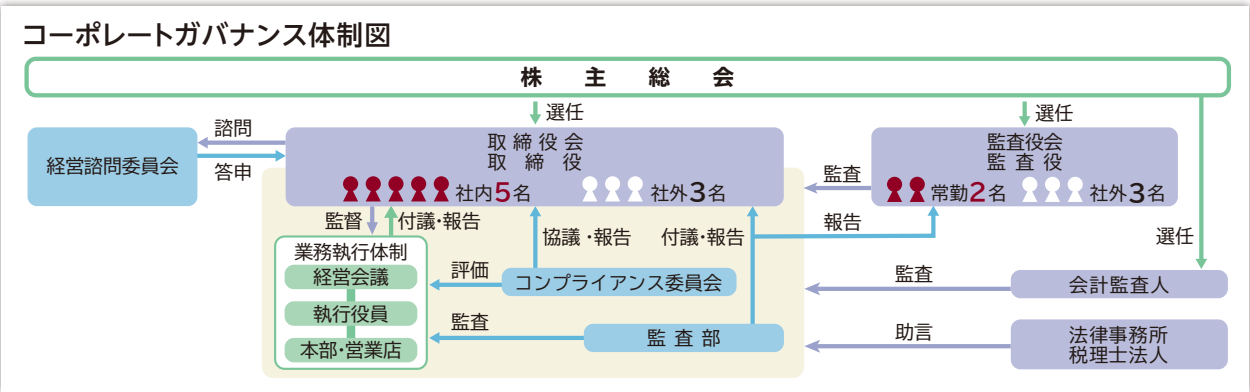
コーポレートガバナンスの充実を持続的成長と企業価値向上に不可欠であるとの認識のもと、取組みを強化しています。あわせて、銀行に求められている社会的責任と公共的使命を果たすため、コンプライアンス(法令遵守)体制の強化に継続的に取り組んでいます。

コーポレートガバナンスの充実

コーポレートガバナンスの充実を経営の重要課題と認識し、法令や規程を遵守するとともに、取締役会及び監査役会において取締役の職務執行について厳正な監視を行っています。

豊かな知見と経験を有した社外取締役3名と社外監査役3名を選任し、取締役の職務執行に係るモニタリング・監査に加え、取締役会への出席等を通じ、透明性を保ちながら独立・中立の立場で幅広い視野から積極的に経営に関する意見表明・助言等を行うことで経営監視機能の客観性・中立性を確保しています。

あわせて、執行役員制度のもと、取締役の員数をスリム化し迅速な経営判断を可能としています。



(2023年6月)

コーポレートガバナンスに関する基本方針を開示しています

本基本方針に基づき、最良のコーポレートガバナンスの実現に向け、株主の皆さまとの建設的な対話や公平かつ適時・適切な情報開示などに努めております。

コンプライアンス(法令遵守)体制の強化

当行では、社会的責任と公共的使命を果たすため、コンプライアンスの徹底を経営の重要課題の一つと位置付け、経営陣自ら積極的に関与し、体制の整備や指導方法の確立など、体制強化に取り組んでいます。

今後につきましても、確固たる倫理観と誠実さを基本とした企業行動と、自己責任原則に則った経営姿勢を一段と強め、日常業務や自らの行動における法令や社会規範等の遵守を実践してまいります。

More For You

もっと、街・暮らし・笑顔のために

MORE FOR
TOWN

事業者の皆さまの最良のパートナーとして
～多様な経営課題の解決と持続的な成長をサポート～



コンサルティングによる支援

事業計画策定コンサルティング

経営環境の分析や、事業方針・戦略の策定、計画指標の設定などを支援します。

補助金コンサルティング

事業再構築補助金やものづくり補助金について、事業計画書の策定を支援します。

ES診断サービス

従業員の満足度（ES）を測定し、人事に関する経営指標の分析を行い企業価値向上を支援します。

SDGsコンサルティング

SDGsの取組状況に応じたオーダーメイドのコンサルティングを実施します。

SDGs診断サポート

SDGsとその取組状況を見える化する「SDGs診断」を実施します。

脱炭素コンサルティング

CO₂排出量等の算定を行うとともにCO₂削減計画策定を支援します。



事業承継・M&A

後継者問題や事業の承継・多角化などのお悩みに専門機関と連携したサポートを行っています。



ビジネスマッチング

お取引先企業のニーズに、独自のネットワークを活かした最適なビジネスパートナーを紹介しています。



人材紹介

お取引先企業の事業拡大や新たな事業展開などに貢献する最適な人材を紹介しています。

TOPICS

M&Aシニアエキスパートを 全店に配置

経営者の高齢化や後継者不足等の課題に適切にお応えるため、事業承継・M&A関連の最上位資格である「M&Aシニアエキスパート」の取得者約200名を全店に配置しています。



事業者の皆さまのサステナビリティ経営を後押し

～多様なファイナンス商品～

SDGsへの取組状況などにマッチするファイナンス商品をご用意しています。

持続可能な地域社会づくりへの貢献

SDGs私募債

私募債発行手数料の一部を、指定された学校や団体、基金などに寄付・寄贈します。

これまでの寄付額約5,400万円

課題の見える化をサポート

SDGsフレンズローン

チェックシートを活用し、SDGsと経営課題の関係の見える化するとともに、他社との交流や情報発信等をサポートします。

SDGsへの積極的な取組みを支援

サステナビリティ・リンク・ローン

サステナビリティ・フレームワーク・ローン
SDGsに関連する事業挑戦目標を設定し、達成状況に応じ金利条件が変動する融資商品です。

地域活性化に向けた取組み

地域活性化に向け、自治体等と連携したさまざまな取組みを行っています。

地方公共団体との連携・協働

経済活性化や住民サービス向上に向けた連携を行っています。

包括協定の締結
埼玉県および16市町

ぶぎん地域活性コンソーシアム

自治体・大学・企業などが連携し、地域活性化に向けた最新テーマを共有し、各地域の課題解決に繋がっています。

これまでのテーマ

産業振興

農業支援

公共施設の活用

住民の健康増進

地域脱炭素

シティプロモーションの取組み

関係人口や定住人口の拡大を通じた地域活性化に向け、セミナーや研究会を開催しています。

移住・二拠点居住セミナー

テレワークやワーケーションなど埼玉県の優位性を活かした移住・二拠点居住のメリットなどを発信しています。

ふるさと納税研究会

自治体の「ふるさと納税」の取組みを支援するため、自治体担当者が参加する研究会を開催しています。



県内農業の振興

～むさしのアグリイノベーションプロジェクト～

2023年6月、農業分野における取組みとして米づくりに挑戦する「むさしのアグリイノベーションプロジェクト」を開始しました。米づくりや加工品製造などで得られるノウハウや知見を基に、県内農業を取り巻く課題解決を目指していきます。



田植えには新入行員86名が参加

STEP1 ▶ 試験運用(2023年開始)

- ・地元生産者と連携した米づくり
- ・加工品の試作 など

STEP2 ▶ 事業化準備

- ・米および加工品の販売
- ・事業化に向けた態勢整備
- ・課題解決手法の構築 など

STEP3 ▶ 事業化実現

- ・課題解決手法の水平展開
- ・環境配慮型農業等への挑戦 など

TOPICS

地域情報誌

「ぶらってシリーズ」

立教大学観光学部と連携し、2023年3月に第11弾となるまち歩きマップ「ぶらって草加」を発行しました。草加の新たな魅力を発信しています。



More For You

もっと、街・暮らし・笑顔のために

MORE FOR
LIFE

キャッシュレス決済の充実

キャッシュレス加盟店サービス

事業者の皆さまにマルチ決済端末を提供し、キャッシュレス化をサポートしています。

取り扱いブランド

クレジットカード・デビットカード



QRコード



※QRコードは（株）デンソーウェーブの登録商標です。

むさしのカード 取次ブランド

クレジットカード・デビットカード



電子マネー



電子マネー

交通系電子マネー



※「PiTaPa」はご利用いただけません。



電子決済サービスとの連携

スマホから簡単に電子マネーへのチャージや支払いなどができます。



TOPICS

学校法人のキャッシュレス化をサポート

学校法人佐藤栄学園が運営する高等学校および中学校3校にて、在学証明書等の発行にかかるキャッシュレス決済をサポートしています。

人生100年時代の資産づくりをサポート

お客さまの生涯に亘るパートナーとして、安定的な資産形成をサポートしています。

資産形成をサポートするラインナップ

投資信託

NISA

積立サービス

ファンドラップ

iDeCo
(個人型確定拠出年金)

生命保険

外貨預金

むさしのマネープラン

ご自身に合った運用方法が見つかるWEBサービスです。



アクセスは
こちらから



TOPICS

新NISA制度開始 に向けて

2024年1月1日からの新NISA制度開始に向け、お客さま向けセミナーの開催など情報発信に努めています。

便利なサービスをいつでも、どこでもご利用いただけます

スマートフォン等ご利用によるサービスの拡充



武蔵野銀行アプリ

銀行手続きをスマートフォンで便利に行えます。

ダウンロードは
こちらから



インターネット専用口座
「Web Note」

開設は
こちらから



お申込からご契約まで、ご来店いただくことなく
全てのお手続きが完結します。

マイカーローン

教育ローン

リフォームローン

空き家活用ローン

フリーローン

多目的ローン

住宅ローンのお手続きをより便利に

住宅ローンの各種お手続きが24時間365日（メンテナンス時間を除く）、オンラインでご利用いただけます。

住宅ローンWEB受付システム

・申込み ・書類の授受 ・担当者への問い合わせ

電子契約サービス

・契約手続き



次の世代へ想いを繋ぐ ～お客さまの大切な資産承継をお手伝い～

むさしの暦年贈与型信託 「贈る想い」



大切な資産承継を
お手伝い

生前贈与を活用して大切な
ご資産をご家族へ
贈ることができます。

むさしの金銭信託 「つなぐ想い」



万が一のときも
ご安心いただけます

認知症や要介護認定など、
サポートが必要になった場合の
金銭の受取りもスムーズに行う
ことができます。

むさしの 家族信託



相続発生までの
ご資産を守ります

年齢を重ね認知症などで
判断が難しくなった場合の
財産管理や資産承継を
総合的に支援します。

遺言信託・ 遺産整理業務



円滑な相続・
資産継承に向けて

お忙しいお客さまに代わり、
煩雑な各種お手続きを
代行します。

むさしの 後見制度支援信託



お客さまの財産
管理をサポート

後見制度を利用されている
お客さまの預貯金口座を
安全・確実に管理します。

More For You

もっと、街・暮らし・笑顔のために

MORE FOR SMILE

豊かな生物多様性を次世代へ受け継ぐために

公益信託「武蔵野銀行みどりの基金」

30年に亘り自然環境保全・創出活動を行う皆さまに対し、活動資金を助成しています。また、基金創設30周年を記念し「ひとばえ」第6集を発刊しました。

1992年からの助成実績

助成先	のべ346団体
助成金額	累計7,941万円



◀「ひとばえ」第6集
はこちらからご覧
いただけます

環境に配慮した店舗拠点づくり

生物多様性に配慮した植栽を行うなど、環境に配慮した店舗・拠点作りに継続的に取り組んでいます。

本店ビルの植栽の庭
「武蔵野の森」



地域創生スペース「M's SQUARE」

本店ビル2階の地域創生スペース「M's SQUARE」では、自治体や企業・団体等と連携し地域の魅力や取組むべき課題の発信、地域の皆さまの交流の場となるイベント開催を行っています。



地域の文化や魅力を発信

大宮歴史写真展

大宮の発展をテーマに1950年代から2000年代までの貴重な写真のパネル展を開催しました。

共生社会への機運を醸成 障がい者アート展& パラスポーツ体験会

優れたアートの展示やパラリンピック公式競技「ボッチャ」「ゴールボール」の体験会を行いました。



地域のスポーツ振興に向けて

プレゼンツマッチ等の開催や「M's SQUARE」での交流イベントなどを通して、地元スポーツチームを応援しています。



越谷アルファーズ

バスケットボールB.LEAGUEで活躍する「越谷アルファーズ」を応援しています。



T.T彩たま

Tリーグで活躍するプロ卓球チーム「T.T彩たま」を応援しています。



埼玉西武ライオンズ

「M's SQUARE」に応援ブースを設置しているほか、オリジナルデザインのキャッシュカードを取扱っています。



大宮アルディージャ



当行プレゼンツマッチで
特製Tシャツを配布



監督・選手による卓球教室

金融経済教育の拡充

小学生からご高齢の方まで、幅広い世代の皆さまの金融経済に関する知識向上に役立つ多様なコンテンツを用意しています。

金融経済教育プログラム「むさしの未来アカデミー」

貯蓄・投資などライフプランに関する講座や起業をテーマとした講座を、高校生を中心とした若年世代に向け実施しています。



高校生への出張講座

子どもたちの笑顔と未来のために

子ども食堂の支援

地域の子どもの健やかな成長を支援するため、未使用食品を持ち寄り県内の子ども食堂に寄贈する「フードドライブ運動」を行っています。



食料品270箱を県内の子ども食堂へ寄贈しました

ヤングケアラーの支援

埼玉県や支援団体等と連携し、社会課題となっているヤングケアラーについて積極的な支援を行っています。ヤングケアラー同士の交流会や支援者向けの講習会を開催し、地域社会が一体となった支援の輪の拡大を図っています。

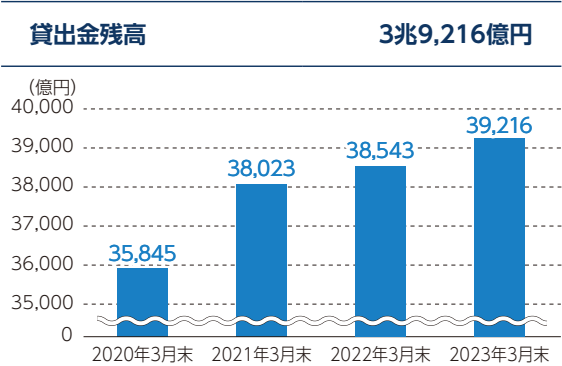


ヤングケアラー同士の交流会

業績ハイライト

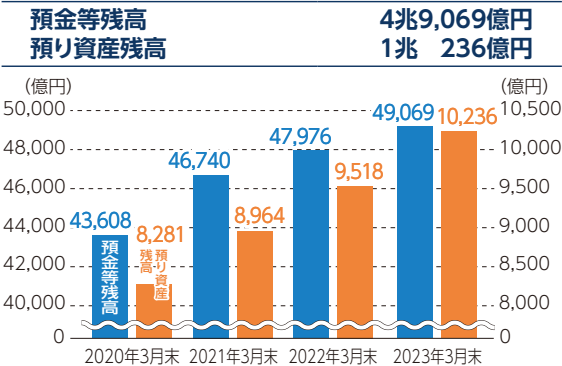
- 貸出金の状況
- 預金等・預り資産の状況
- 損益の状況
- 格付
- 不良債権比率
- 自己資本比率
- 財務諸表(要約)

貸出金の状況



貸出金残高は、コロナ禍の影響を踏まえ、県内企業及び個人のお客さまの資金繰り支援に積極的かつ迅速にお応えした結果、前年比673億円(年率1.7%)増加し、3兆9,216億円となりました。

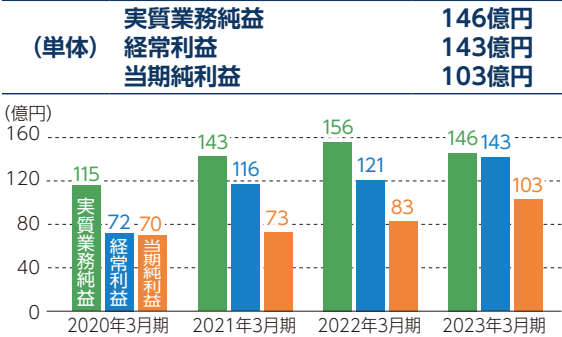
預金等・預り資産の状況



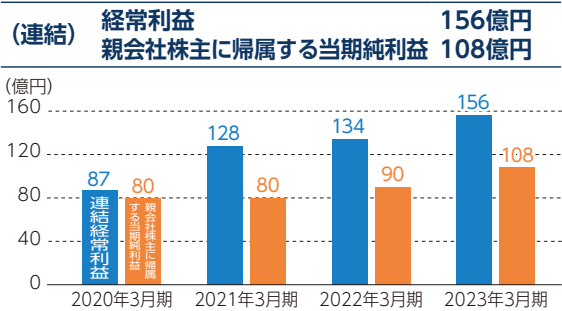
預金等残高は、地域に密着した営業基盤の拡充や総合取引の推進等に努めました結果、前年比1,092億円(年率2.2%)増加し、4兆9,069億円となりました。
預り資産残高は、前年比7.5%増加し、預金等との合算では前年比3.1%の増加となりました。

預金等……預金及び譲渡性預金。
預り資産……投資信託、生命保険、国債等の合計。投資信託は時価ベース残高。生命保険は販売累計額。

損益の状況



実質業務純益は146億円、経常利益は143億円、当期純利益は103億円となりました。



連結経常利益は156億円、親会社株主に帰属する当期純利益は108億円となりました。

格付 (公表日:2023年3月10日)

株式会社日本格付研究所 「債務履行の確実性が高い」という投資適格の評価。

A

不良債権比率

1.8%

自己資本比率

単体 9.01% 連結 9.44%

*2023年3月期より信用リスク計測手法を「標準的手法」から「基礎的内部格付手法」に変更しています。

※本誌に掲載の計数は、原則として単位未満を切り捨ての上表示しております。

貸借対照表

	(単位:百万円)		(単位:百万円)
(資産の部)		(負債の部)	
現金預け金	484,162	預金	4,880,863
買入金銭債権	839	譲渡性預金	26,070
商品有価証券	7	コールマネー	57,551
金銭の信託	1,489	債券貸借取引受入担保金	10,638
有価証券	809,893	借入金	58,300
貸出金	3,921,626	外国為替	390
外国為替	7,257	信託勘定借	7,756
その他資産	26,114	その他負債	12,528
有形固定資産	53,687	賞与引当金	1,084
無形固定資産	4,857	役員賞与引当金	22
前払年金費用	9,370	退職給付引当金	2,773
繰延税金資産	1,415	睡眠預金払戻損失引当金	142
支払承諾見返	4,834	偶発損失引当金	219
貸倒引当金	△ 16,359	株式報酬引当金	83
		再評価に係る繰延税金負債	4,227
		支払承諾	4,834
		負債の部合計	5,067,489
		(純資産の部)	
		資本金	45,743
		資本剰余金	38,353
		資本準備金	38,351
		その他資本剰余金	2
		利益剰余金	144,570
		利益準備金	10,087
		その他利益剰余金	134,483
		自己株式	△ 951
		株主資本合計	227,716
		その他有価証券評価差額金	5,817
		繰延ヘッジ損益	△ 152
		土地再評価差額金	8,286
		評価・換算差額等合計	13,951
		新株予約権	38
		純資産の部合計	241,706
資産の部合計	5,309,195	負債及び純資産の部合計	5,309,195

損益計算書

	(単位:百万円)
経常収益	69,584
資金運用収益	43,426
(うち貸出金利息)	(34,825)
(うち有価証券利息配当金)	(7,937)
信託報酬	63
役務取引等収益	14,188
その他業務収益	9,974
その他経常収益	1,931
経常費用	55,196
資金調達費用	3,074
(うち預金利息)	(420)
役務取引等費用	4,384
その他業務費用	11,115
営業経費	34,411
その他経常費用	2,209
経常利益	14,388
特別損失	86
税引前当期純利益	14,301
法人税、住民税及び事業税	3,388
法人税等調整額	561
法人税等合計	3,950
当期純利益	10,351

※本誌に掲載の計数は、原則として単位未満を切り捨ての上表示しております。

連結貸借対照表

	(単位:百万円)
(資産の部)	
現金預け金	484,394
買入金銭債権	839
商品有価証券	7
金銭の信託	1,489
有価証券	810,296
貸出金	3,909,853
外国為替	7,257
リース債権及びリース投資資産	17,469
その他資産	40,077
有形固定資産	54,999
無形固定資産	4,941
退職給付に係る資産	7,596
繰延税金資産	2,798
支払承諾見返	4,834
貸倒引当金	△ 19,756
資産の部合計	5,327,096

	(単位:百万円)
(負債の部)	
預金	4,875,224
譲渡性預金	16,070
コールマネー及び売渡手形	57,551
債券貸借取引受入担保金	10,638
借入金	68,276
外国為替	390
信託勘定借	7,756
その他負債	24,278
賞与引当金	1,129
役員賞与引当金	37
退職給付に係る負債	2,810
役員退職慰労引当金	35
利息返還損失引当金	29
睡眠預金払戻損失引当金	142
ポイント引当金	110
偶発損失引当金	219
株式報酬引当金	83
繰延税金負債	331
再評価に係る繰延税金負債	4,227
支払承諾	4,834
負債の部合計	5,074,179
(純資産の部)	
資本金	45,743
資本剰余金	38,353
利益剰余金	156,284
自己株式	△ 951
株主資本合計	239,430
その他有価証券評価差額金	6,500
繰延ヘッジ損益	△ 152
土地再評価差額金	8,286
退職給付に係る調整累計額	△ 1,219
その他の包括利益累計額合計	13,415
新株予約権	38
非支配株主持分	33
純資産の部合計	252,917
負債及び純資産の部合計	5,327,096

連結損益計算書

	(単位:百万円)
経常収益	81,901
資金運用収益	42,569
(うち貸出金利息)	(34,832)
(うち有価証券利息配当金)	(7,066)
信託報酬	63
役務取引等収益	14,939
その他業務収益	11,109
その他経常収益	13,218
経常費用	66,266
資金調達費用	3,113
(うち預金利息)	(420)
役務取引等費用	4,041
その他業務費用	11,116
営業経費	35,886
その他経常費用	12,108
経常利益	15,634
特別損失	86
税金等調整前当期純利益	15,548
法人税、住民税及び事業税	3,970
法人税等調整額	709
法人税等合計	4,679
当期純利益	10,868
非支配株主に帰属する当期純利益	3
親会社株主に帰属する当期純利益	10,865

連結包括利益計算書

	(単位:百万円)
当期純利益	10,868
その他の包括利益	△ 5,261
その他有価証券評価差額金	△ 3,975
繰延ヘッジ損益	△ 276
退職給付に係る調整額	△ 1,009
包括利益	5,607
(内訳)	
親会社株主に係る包括利益	5,603
非支配株主に係る包括利益	3

株式のご案内

【事業年度】	毎年4月1日から翌年3月31日まで
【定時株主総会】	毎年6月に開催
【基準日】	定時株主総会の議決権の基準日は毎年3月31日
【公告の方法】	電子公告といたします。 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

【株主名簿管理人及び特別口座管理機関】
東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
【連絡先】三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1番1号 0120-232-711 (通話料無料)
【郵送先】〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
【ご注意】株主さまの住所変更や買取請求等のお手続きにつきましては、原則、 口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることになって おりますので、ご注意ください。

株式の所有者別状況 (2023年3月末現在)

区 分	株式の状況 (1単元の株式数100株)							単元未満 株式の状況 (株)
	政府及び 地方公共団体	金融機関	金融商品 取引業者	その他の 法人	外国人等		個人 その他	
株主数(人)	—	49	34	825	132	4	7,526	8,570
所有株式数(単元)	—	135,613	4,997	74,584	49,933	7	71,419	336,553
所有株式数の割合(%)	—	40.30	1.48	22.16	14.84	0.00	21.22	100.00

- (注) 1. 自己株式270,617株は「個人その他」に2,706単元、単元未満株式に17株含まれております。
2. 「その他の法人」の欄には、株式会社証券保管振替機構名義の株式が14単元含まれております。
3. 「金融機関」及び「単元未満株式の状況」の欄には、役員報酬BIP信託に係る信託口が保有する当行株式が、それぞれ782単元及び36株含まれております。

大株主の状況 (2023年3月末現在)

(千株・%)

株主名	当行への出資状況	
	持株数	持株比率
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,572	10.65
株式会社日本カस्टディ銀行(信託口)	2,415	7.20
株式会社日本カस्टディ銀行(信託口4)	1,209	3.60
株式会社千葉銀行	925	2.75
QRファンド投資事業有限責任組合 無限責任組合員 株式会社QRインベストメント	914	2.72
明治安田生命保険相互会社	735	2.19
武蔵野銀行従業員持株会	716	2.13
住友生命保険相互会社	702	2.09
前田硝子株式会社	602	1.79
日本生命保険相互会社	507	1.51

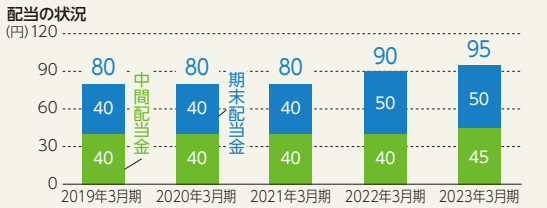
- 注1. 持株数は千株未満を切り捨てて表示しております。
2. 持株比率は自己株式(270千株)を控除して算出し、小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。なお、自己株式には、役員報酬BIP信託に係る信託口が保有する当行株式(78千株)は含まれておりません。

特別口座に記録された株主さまへ

1. 特別口座のままでは売買を行うことはできません。証券会社等に株主さまご本人の口座を開設し、特別口座から証券会社等の口座に振替請求を行ってください。
2. 特別口座に記録された単元未満株式の買取請求、買増請求、住所変更等のお手続きは、上記の特別口座管理機関にお申し出ください。

期末配当金のお知らせ

2023年3月期の1株当たり期末配当金につきましては50円、年間配当95円とさせていただきます。



株式の状況等 (2023年3月末現在)

発行可能株式総数	80,000,000株
発行済株式の総数	33,805,456株
(うち自己株式)	270,617株
株主数	13,040名
単元株式数	100株

ホームページにて株主・投資家向け情報をご案内しております。

<https://www.musashinobank.co.jp/irinfo/>



いつもお客さまのそばに

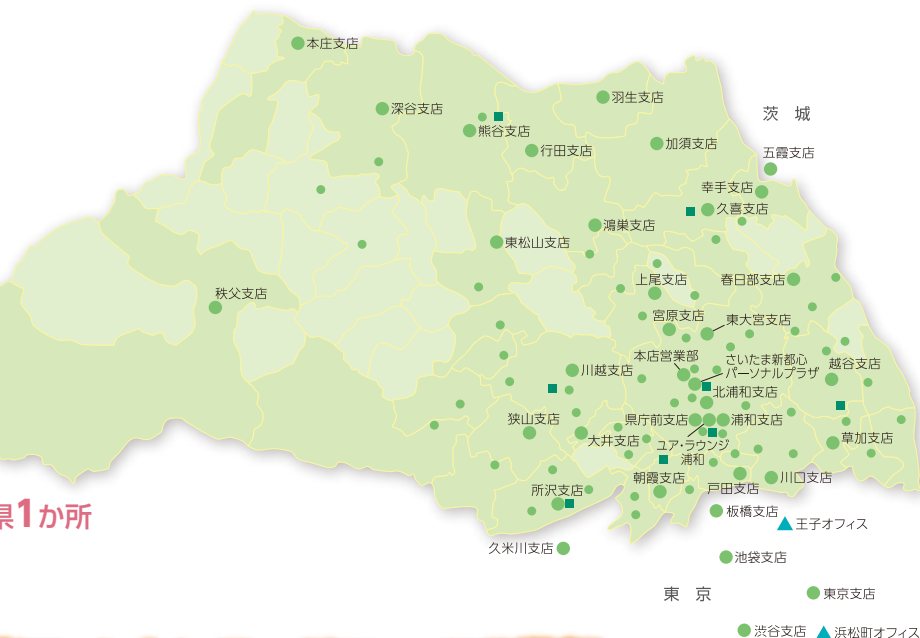
店舗のご案内

- …営業店
- …住宅ローンセンター
- ▲…オフィス

埼玉県内 **93**か店
東京都 **5**か店
茨城県 **1**か店
計 **99**か店

店舗外ATM

埼玉県**105**か所 茨城県**1**か所
(2023年5月末現在)



久喜支店・久喜住宅ローンセンター リニューアル移転

2023年4月、地域の皆さまによりご利用しやすい店舗にリニューアルしました。



● 広くゆとりのあるロビー



● 専門スタッフと相談できる遠隔相談ブース



● 365日利用いただける全自動貸金庫



住所／埼玉県久喜市久喜中央1-5-18
電話／0480-22-9311

表紙について

埼玉県内の初夏から盛夏の印象的な風景を取り上げました。左から時計回りにうちわ祭り(熊谷市)、千年の苑ラベンダー(嵐山町)、べに花(桶川市)、秩父ジオグラフィティパーク(秩父市)です。

(提供：埼玉県産業労働部観光課)

武蔵野銀行

ホームページ <https://www.musashinobank.co.jp>
〒330-0854 さいたま市大宮区桜木町一丁目10番地8
TEL.048-641-6111(代)

発行／2023年6月 編集／武蔵野銀行 総企画画部 広報・CSRグループ

本冊子に掲載しております商品・サービス等の詳細につきましてはお近くの営業店窓口へお問い合わせください。



この冊子は、適切に管理されたFSC® 認証林からの原材料および、再生資源やその他の管理された原材料から作られた、環境配慮型のFSC® 認証紙を使用しています。



環境負荷の少ない植物油インキを使用しています。



見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。



この印刷物は、E3PA(環境保護印刷推進協議会)のゴールドプラス基準に適合した地球環境にやさしい印刷方法で作成されています。